



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 昭光通商株式会社

コード番号 8090 URL <http://www.shoko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂井 伸次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 川口 鉄二

TEL 03-3459-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	99,452	△4.2	1,406	8.1	1,396	9.5	816	△26.1
23年12月期第3四半期	103,797	2.0	1,300	24.5	1,275	28.9	1,105	44.3

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 947百万円 (6.9%) 23年12月期第3四半期 886百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	7.43	—
23年12月期第3四半期	9.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	60,612	15,687	25.8	142.71
23年12月期	56,931	15,543	27.2	139.24

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 15,631百万円 23年12月期 15,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年12月期	—	0.00	—		
24年12月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,700	4.6	2,000	9.7	1,930	12.4	1,030	△23.7	9.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 有
④ 修正再表示： 無

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	112,714,687 株	23年12月期	112,714,687 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	3,180,495 株	23年12月期	1,351,436 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	109,903,219 株	23年12月期3Q	111,368,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの回復基調にあるものの、欧州債務危機を発端とする世界経済の減速、これによる中国・アジアの生産活動の鈍化、更には長引く円高により先行きに対する不透明感が増しております。

このような状況の中、当社グループでは、5ヵ年の中期経営計画の2年目として引続き、「事業構造変革の推進」、「海外事業への更なる取り組み」及び「新規商材の拡充」等に積極的に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、国際市況急落の影響を受けた金属部門の減収により994億52百万円（前年同期比4.2%減）となりましたが、化学品部門の分析機器事業等の増益により、営業利益は14億6百万円（前年同期比8.1%増）、経常利益は13億96百万円（前年同期比9.5%増）、四半期純利益は8億16百万円（前年同期比26.1%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(化学品)

化学品部門につきましては、化学品関連は、硫酸等の基礎化学品及び機能性高分子材が順調に推移しましたが、円高による輸出環境の悪化が継続したことにより、主要商品の酢酸エチル等の出荷が減少し、減収となりました。

科学システム関連は、一部分析機器の輸出の減少がありましたが、主力の分析用ショウデックスカラム、高分子分析用ワイアット品等が好調に推移し、増収となりました。

肥料農材関連は、農産物生産者の収益悪化に伴う購買意欲の減退と肥料価格の値下げを見越した買い控えにより、減収となりました。

以上の結果、売上高は232億30百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は4億12百万円（前年同期比50.5%増）となりました。

(合成樹脂)

合成樹脂部門につきましては、前半にナフサ価格の上昇を受け、販売が増加しましたが、後半は、一転、原油、ナフサ価格の下落による需要家の買い控えにより、減収となりました。一方、合成樹脂関連商材につきましては、三国間取引が好調に推移し、増収となりました。また、開発につきましては、エンブラ事業の開拓に引続き注力しており、成果が顕現しつつあります。

以上の結果、売上高は332億95百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は2億59百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

(金属)

金属部門につきましては、軽金属関連は、需要家の減産等により2次合金、アルミ箔等の販売が減少し、減収となりました。

無機材料関連は、レアアースが国際市況の急落、需要家の在庫調整及び原料転換等により、大幅な減収となりました。また、研削・研磨材等につきましても欧州向け電子部品関連輸出の減少により低調に推移し、減収となりました。

以上の結果、売上高は229億円（前年同期比22.7%減）、営業利益は2億50百万円（前年同期比47.8%減）となりました。

(生活環境)

生活環境部門につきましては、住宅建材関連は、防災関係需要の増加により、鋳鉄管の販売が増加したものの、アルミ建材、地盤改良材等の販売が減少したため、前年並にとどまりました。

食品関連は、主力のリンゴ酸の復調、メープル製品の新規販売、ライスパフ原料のスポット販売があったため、増収となりました。

以上の結果、売上高は101億28百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は2億94百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

(情報電材その他)

情報電材その他部門につきましては、エレクトロニクス関連は、液晶テレビの販売不振からLED需要が減退し、その影響でLED、サファイアインゴットとも低調に推移しました。一方、光焼成装置、中国向け製造装置、クリーンルーム等の販売については、好調に推移し、増収となりました。

その他事業に含まれる連結子会社につきましても、昭光通商（上海）有限公司の鉄鋼原料等が好調に推移し、増収となりました。

以上の結果、売上高は98億98百万円（前年同期比21.6%増）、営業利益は1億90百万円（前年同期は営業損失25百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における資産は、606億12百万円（前連結会計年度末比6.5%増）となりました。これは、「受取手形及び売掛金」が増加したことが主因であります。

負債は、449億24百万円（前連結会計年度末比8.5%増）となりました。これは、「短期借入金」が増加したことが主因であります。

純資産は、156億87百万円（前連結会計年度末比0.9%増）となりました。これは、四半期純利益の増加に伴う利益剰余金の増加が主因であります。

この結果、自己資本比率は1.5ポイント下降して25.8%になりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、震災からの回復基調にあるものの、欧州債務危機を発端とする世界経済の減速、これによる中国・アジアの生産活動の鈍化、更には長引く円高により先行きに対する不透明な経営環境下で推移するものと予想されます。

このような情勢のもと、当社グループは、平成27年を目標年度とした中期経営計画を着実に実行してまいります。

現在の見通しでは、平成24年2月9日の決算発表時に公表しました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、前第3四半期連結累計期間と同一の方法によった場合と比較して、業績に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,248	3,923
受取手形及び売掛金	37,477	40,100
商品及び製品	3,337	3,022
販売用不動産	12	12
仕掛品	110	131
仕掛販売用不動産	273	436
原材料及び貯蔵品	278	291
その他	2,722	2,231
貸倒引当金	△123	△103
流動資産合計	46,338	50,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,667	1,588
機械装置及び運搬具（純額）	95	123
土地	4,900	4,900
その他（純額）	100	86
有形固定資産合計	6,763	6,699
無形固定資産		
のれん	50	45
その他	253	257
無形固定資産合計	304	303
投資その他の資産		
投資有価証券	2,050	2,313
長期貸付金	21	16
繰延税金資産	314	239
その他	1,279	1,105
貸倒引当金	△140	△109
投資その他の資産合計	3,524	3,564
固定資産合計	10,592	10,566
資産合計	56,931	60,612

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,727	30,802
短期借入金	2,675	6,812
未払法人税等	202	397
賞与引当金	162	348
その他	2,083	1,187
流動負債合計	35,851	39,549
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	796	836
その他	2,739	2,538
固定負債合計	5,536	5,375
負債合計	41,388	44,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,021	8,021
資本剰余金	0	0
利益剰余金	6,789	7,049
自己株式	△220	△465
株主資本合計	14,591	14,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	199
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	839	839
為替換算調整勘定	△17	△14
その他の包括利益累計額合計	914	1,024
少数株主持分	37	56
純資産合計	15,543	15,687
負債純資産合計	56,931	60,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	103,797	99,452
売上原価	97,419	93,067
売上総利益	6,378	6,384
販売費及び一般管理費	5,077	4,978
営業利益	1,300	1,406
営業外収益		
受取利息	27	29
受取配当金	65	60
雑収入	36	21
営業外収益合計	129	111
営業外費用		
支払利息	107	69
為替差損	14	29
雑損失	33	22
営業外費用合計	154	121
経常利益	1,275	1,396
特別利益		
貸倒引当金戻入額	91	—
固定資産売却益	44	—
受取損害賠償金	—	67
その他	17	—
特別利益合計	154	67
特別損失		
投資有価証券評価損	3	17
投資有価証券清算損	—	23
固定資産除売却損	14	1
災害による損失	13	—
契約等解除損失	—	46
その他	7	0
特別損失合計	38	87
税金等調整前四半期純利益	1,391	1,375
法人税、住民税及び事業税	288	592
法人税等調整額	△6	△50
法人税等合計	281	541
少数株主損益調整前四半期純利益	1,109	833
少数株主利益	4	17
四半期純利益	1,105	816

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,109	833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△207	110
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	△14	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△222	113
四半期包括利益	886	947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	883	926
少数株主に係る四半期包括利益	3	20

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	情報電材 その他	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	24,379	31,734	29,609	9,931	8,142	103,797	—	103,797
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	9	1	11	204	260	△260	—
計	24,413	31,743	29,610	9,942	8,346	104,057	△260	103,797
セグメント利益又は損失(△)	273	316	480	249	△25	1,294	6	1,300

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額6百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	情報電材 その他	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	23,230	33,295	22,900	10,128	9,898	99,452	—	99,452
セグメント間の内部売上高又は振替高	27	15	6	11	185	246	△246	—
計	23,258	33,310	22,906	10,139	10,083	99,698	△246	99,452
セグメント利益	412	259	250	294	190	1,407	△1	1,406

(注) セグメント利益の調整額△1百万円は、主にセグメント間取引消去であります。